

～ 会議録抜粋 ～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

＝ ＝ 平成 24 年第 3 回定例会 一般質問 ＝ ＝

野口博議員

1 北摂 7 市の中で一番高い上下水道料金の引き下げなどについて

【質問 1 回目】

○野口博議員 最初に、北摂 7 市の中で一番高い上・下水道料金の値下げなどについてお尋ねします。

北摂 7 市の中で比較しますと、ワースト 1 が三つあります。交通事故件数、医療施設の病床数、そして、1 か月 20 立方メートル当たりの上・下水道料金であります。金額を最初に申し上げますと、一番高い摂津市が 4, 846 円、2 番目が箕面市で 4, 737 円、3 番目が高槻市で 4, 123 円、4 番目が茨木市で 4, 063 円、5 番目が豊中市で 3, 739 円、6 番目が吹田市で 3, 499 円、7 番目が池田市で 3, 349 円となり、最も安い池田市の 1.45 倍であります。1 年間に支払う料金で見れば、摂津市民が池田市民より 1 万 8, 000 円も多く払っている状況であります。

毎年、本市の水道事業本体では大体 3 億円前後の当年度純利益を上げていること、来年度、大阪広域水道企業団により給水原価は 10 円ほど安くなるとの予測が出され、我が党府議会議員団の申し入れに対して値下げは可能だと述べていることから、料金の値下げに取り組むべきではないでしょうか。いかがでしょうか。

【質問 1 回目への答弁】

○宮川水道部長 上・下水道料金の引き下げなどについてのご質問にお答えいたします。

水道料金は、給水サービスの対価であることから、できるだけ低廉かつ公平でなければならないとともに、地域住民の要求する給水需要が量、質ともに充足していただけるよう適正に定めなければならないものと考えております。したがって、水道事業の健全な

発展が前提条件となるものでございまして、施設の計画的な建設、改良、再構築の実施と経営効率化に向けた努力が不可欠となってまいります。水道事業会計は独立採算制であり、利用者からの料金収入からその財源の確保をいたしておりますが、年々給水収益が減少していく現状でございまして、一方で施設の老朽化によります更新、あるいは危機管理に備えた配水管の耐震化などに多額の費用の確保が必要となってまいります。各市の水道料金の格差につきましては、水源の種類や取得条件の違い、あるいは配水管布設年次、配水管建設時の多寡など、給水地域における地理的、歴史的な要因などにもよるものでございます。水道部としましては、安心・安全な水を安定的に供給できるよう、今後も施設整備及び施設管理を行ってまいりたいと考えているところでございます。

先ほど企業団のほうの値下げのお話もございましたけれども、今のところ私どもとしては未確認といえますか、その情報は受けておらないという状況でございます。ですので、そういう経緯が明確になりますれば私どもとしても考えてまいりたいと思いますが、今のところ、経営の効率化に努める上で今後の施設整備も必要であり、上・下水道料金を下げることについては非常に厳しいものと考えておるところでございます。

○嶋野浩一朗議長 土木下水道部長。

(藤井土木下水道部長 登壇)

○藤井土木下水道部長 下水道使用料の引き下げなどについてでございますが、下水道事業におきましては、汚水処理に要する経費は下水道使用料で賄うという原則がございしますが、本市の場合、起債元利償還金の増加などから、汚水処理に要する経費を使用料収入で

～ 会議録抜粋 ～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

＝ 平成 24 年第 3 回定例会 一般質問 ＝

野口博議員

1 北摂 7 市の中で一番高い上下水道料金の引き下げなどについて

賄えない状況でございます。加えて、節水意識の定着などによる水需要の低下から、使用料収入は近年減少傾向にあり、一般会計繰入金による補てんや資本費平準化債の発行を余儀なくされているところでございます。本市の厳しい財政見通しを考え併せますと、本来使用料の値上げを検討すべき状況でございます。したがって、現在の使用料でご理解願うものでございます。

【質問 2 回目】

○野口博議員 上・下水道料金の引き下げ問題について、二つのことを申し上げます。

一つは、市民の負担能力の問題であります。先ほど 1 回目、近隣各市の状況を申し上げましたけども、例えば、池田市の所得は大阪府下で見ますと一人当たり高いほうから 4 番目の 361 万 9,000 円です。摂津市は低いほうから 4 番目で 293 万 5,000 円です。その差は 68 万 4,000 円です。つまり、68 万円少ない摂津市民が逆に池田市よりも 1 万 8,000 円多く料金を払っているということになります。いろいろ摂津市の行革のスタンスで、施策的に進んでいるものについては少なくとも世間並みに見直していくということをよくおっしゃいますけども、逆に悪いほうで突出している問題について見直すべきだということも一方であると思いますけれども、ぜひこうした負担能力を見ていただいて、ちゃんとした対応をしていただきたいと。

もう一つは、先ほど答弁では府の水道企業団の動きについて未確認という不誠実な答弁をされたわけですが、事前に内容を渡しているわけで、できれば確認した上で答弁してでも、そういう姿勢で臨んでいただ

きたいということを言っておきたいと思いますが、私ども府議会議員団の企業団に対する質問に対して、こういうふうに企業団が回答しています。直近の経営状況を踏まえながら具体的な実施時期や値下げ幅などについて平成 24 年度中に検討を行うと。給水原価 10 円です。摂津市は大体使っている水量の 73%、760 万 5,000 立方メートルを提供いただいております。単純に 10 円を掛けますと 7,600 万円になるわけです。これが来年度からもし実施されれば払わなくてもいいわけでありまして、こういう財源も活用してぜひ検討していただきたいと。水道部長なり、担当部長なり、水道事業管理者である市長なりにご答弁を求めておきたいと思っております。

【質問 2 回目への答弁】

○宮川水道部長 まず、先ほどの答弁におきまして未確認という表現を使ったこと、不適切だったとおわび申し上げます。その内容につきまして、休みの時間中ではございましたけど、企業団のほうに確認させていただきました。その内容の中で、昼休みということもありまして詳しくは確認できなかったんですけども、共産党の府議団より要望があった事実、それと、その要望を受けたことで、値下げを前提としたその条件のものとシミュレーションに取りかかった状況にあるというふうな内容の返事をいただいたところでございます。そういうところですので、私どもとしましても、どういうふうな内容が出てくるかわかりませんが、先ほどご答弁申させていただきましたとおり、いろいろと経費等がかかってまいりますので、そのあたりも重々ご理解賜りたいと思うところでございま

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

＝＝＝平成24年第3回定例会 一般質問＝＝＝

野口博議員

1 北摂7市の中で一番高い上下水道料金の引き下げなどについて

す。

それと、もう1点の市民負担能力の問題ということで、高い所得のところが高料金で低い所得のところが高料金であると、こういう内容であったかと思います。ただ、この料金に関しましては、やはりこの事業を取りかかった時点と申しますか、それとやはり水源に対する負担、あるいは人口密度と申しますか、そういうところでの費用対効果、いろんなことが関与してまいるかと思います。ただ、私どもとしましては、決して高い、比較をされますと安い高いというのは出てまいりますが、私どもの料金体系、この中では逓増制という状況の中で、やはり低い水量をお使いのところにつきましては、それなりに配慮した料金設定とさせていただいている状況でございますので、そのあたりもご理解賜りたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。